

RI ビームファクトリー整備計画の中間評価の実施及び

その結果について

(1)国際技術検討委員会（第4回）

1.評価の体制・方法・内容

- 評価期間：2000年10月20日から22日までの3日間
- 評価委員会の名称：「RI ビームファクトリー 国際技術検討委員会」
- 委員会構成メンバー：別紙（英文）のとおり
- 評価方法：別紙（英文）の Agenda に従い、以下の手順により行われた。
 - ・ 理研側の説明
 - ・ 質疑応答
 - ・ 全体議論
 - ・ 報告内容の取りまとめ

○報告書：委員会閉会后、委員により最終的に取りまとめられ、理研に送付された。

2.評価結果

- 評価の結果は、実験系施設（MUSES）、特に蓄積、冷却リング(ACR)に高い意義を認めるものであった。また、RI ビームファクトリーは世界的にもユニークな施設であり、似たような研究分野でのノウハウやプロジェクトを持っている研究所との国際的な提携を実現するべきである、との提言を受けた。
- 評価報告書概要：別紙（和文）のとおり

3.評価結果を踏まえて講じた措置等

- 理化学研究所においては、中間評価の結果を踏まえて、所管官庁である文部科学省に対して、RI ビーム実験系施設の整備費を盛り込んだ RIBF 年次計画を提出した。